

平成 26 年度

一般社団法人 保育教諭養成課程研究会

設立総会（第 1 回研究大会）

日 時 平成 26 年 6 月 29 日（日） 13 時半～16 時

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

次 第

1. 開会挨拶
2. 来賓挨拶
3. 記念講演 「今後の教職課程のあり方と幼保の免許統合の見通し」
無藤 隆 白梅学園大学大学院教授(本研究会理事長)
4. トークセッション 「本研究会がめざすもの」
「保育教諭養成に向けて一幼稚園教員養成の立場から」
神長美津子 國學院大學教授(本研究会理事)
「国立大学における養成の今後・東京学芸大学の事例から」
岩立 京子 東京学芸大学教授(本研究会理事)
コーディネーター
太田 光洋 和洋女子大学教授(本研究会理事)
5. 総 会
・議長選出
・議事
(1) 社団法人設立報告・役員承認
(2) 事業計画
(3) 諸手続きの進め方
6. 閉会挨拶

懇親会 レストラン「とき」

保育教諭養成課程研究会の発足に寄せて

本研究会は、広く幼稚園教諭の養成に関わりのある養成校教員や幼稚園教諭などが集結し、その質の向上を図るべく、種々の情報交換を行うと共に、実践的な研究を進めるためのものです。会員による自主的な研究の推進と公表を主眼としていますが、同時に、今後、幼稚園教諭養成課程の改定や保育教諭養成課程の検討などが行われるとすれば、そこに対して積極的に提言していきます。

今、教職課程は幼稚園教諭を含め、その質の向上に向けて改革が進められています。幼稚園教諭と保育士資格の統合の議論も行われていく予定でもあります。まさにこの半世紀における大きな変革期に差し掛かっているのです。そこに向けて、養成課程としての実践知と教師・保育者養成の学問的知見を創造・集結し、学術誌としての論文と共に研究会・総会等での討議を通じてそれらの知見を広める場としていきます。共に進めていきましょう。

無藤 隆

ご案内～次年度総会について～

27年度6月に予定している総会を和洋女子大学でお引き受けすることになりました。保育教諭の養成と実践の質の向上に向け、カリキュラム、実習や教職のあり方、研修制度、等、これまでの幼稚園教育、保育所保育の実践とその保育者養成をふまえた多角的な研究と議論が必要になっています。今年度の設立総会での無藤会長の講演やシンポジウムの提起などを受け、保育者養成にかかわるたくさんの方々のご参加をいただき、議論を深め、上記の問題とともに養成校教員に求められる役割についても考える場ができるよう準備いたします。気の早い話と思われるかもしれませんが、いまから予定に入れていただき、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

和洋女子大学・太田光洋

平成26年度 予算(案)

一般社団法人 保育教諭養成課程研究会

1. 収入の部

| 項目 | 予算額 | 備考 |
|--------------|-----------|-------------|
| 繰越金 | 61,300 | |
| 総会参加費 | 300,000 | @2,000×150名 |
| 懇親会参加費 | 255,000 | @3,000×85名 |
| 正会員会費(入会金含む) | 1,200,000 | @8,000×150 |
| 賛助会員(入会金含む) | 100,000 | @5,000×20 |
| 合計 | 1,916,300 | |

2. 支出の部

| 項目 | 予算額 | 備考 |
|---------|-----------|--------------------------------------|
| 会議費 | 30,000 | 理事会打ち合わせ |
| 総会会場費 | 41,800 | オリセン小ホール他 |
| 懇親会費 | 285,000 | @3,000×85+会場使用料+消費税 |
| 研究部会活動費 | 300,000 | @30,000×10部会 |
| 研究紀要印刷費 | 500,000 | |
| 研修費 | 100,000 | 講師謝礼@50,000×2 |
| 研修会会場費 | 200,000 | 部会・全体会 |
| 接待費 | 20,000 | 講師接待 |
| 通信費 | 92,500 | 案内状@82×250部 紀要送付レターパックミニ@360×200部 |
| 消耗品費 | 100,000 | 資料印刷代 |
| 記念品代 | 50,000 | ファイル・ボールペン・団扇各200部 |
| 予備費 | 197,800 | |
| 合計 | 1,916,300 | |

平成 26 年度事業計画(案)

一般社団法人 保育教諭養成課程研究会

1. 設立総会

日時 平成 26 年 6 月 29 日(日) 午後 1 時～4 時
会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

2. 研究部会

担当 岸井慶子理事（青山学院女子短期大学 教授）
各部会長との連携のもと開催

3. 研究紀要

担当 神長美津子理事（國學院大學 教授）
次年度 6 月発刊を目指す。
投稿規定については後日連絡する。

4. 研究大会

担当 太田光洋理事（和洋女子大学 教授）
次年度 6 月 和洋女子大学に於いて第 2 回研究大会(総会)開催予定。